

通常の会話も聴きにくいこの時代の為に 開発された平面スピーカーシステム

聴きにくい

聴きやすい



飛沫防止に欠かせない
マスクやシールドシートなどで
聴き取りにくい会話も

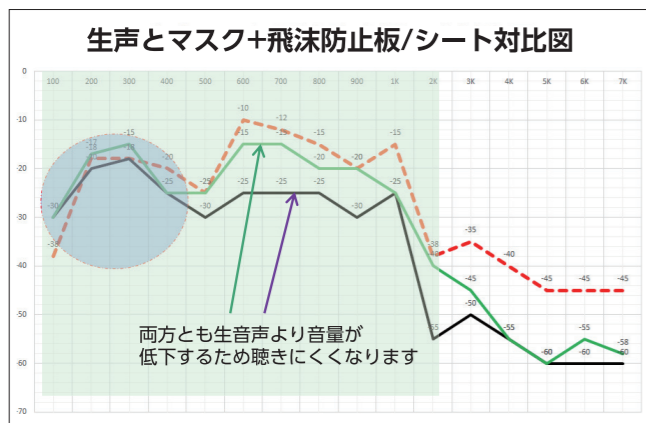


「TOUGH BEAT」を
簡単にセットすれば
会話も聴きやすくなります。

新型コロナウイルスの流行はまだ収まりがみえず、変異株も出現し世界の人々に脅威を与えています。我々をとり巻く状況も一変して、コロナウイルスと共存していく環境作りが必要となりました。これはワクチン接種が実施されても当分は続くものと言われております。その対策として国や自治体はまん延防止等重点措置などで飛沫が多く飛び散る事業所ではアクリル板などの設置を法令に明記義務化されました。ここで問題となっているのは飛沫をブロックするスクリーンを介するとお互いの音声が聴き取りにくくトラブルが発生する場合があります。このトラブルを回避するため、相互(両者)の音声が明確に聴こえる平面貼付「TOUGH BEAT」スピーカーを開発いたしました。飛沫をブロックしてお互いの会話(音声)が鮮明(音声の補完)になり安心・安全に使用できることを実現しました。このスピーカーは貼り付けるだけで工事は不要で簡単に設置できます。貼り付ける素材はアクリル板/シールドシート等です。なおこのスピーカーシステムは拡声器ではありません。お互いの会話音声を適度に補完し聴きとりやすい環境を作る平面スピーカーです。

飛沫ブロックスクリーン(アクリル板・シールドシート)使用時の音声の分析

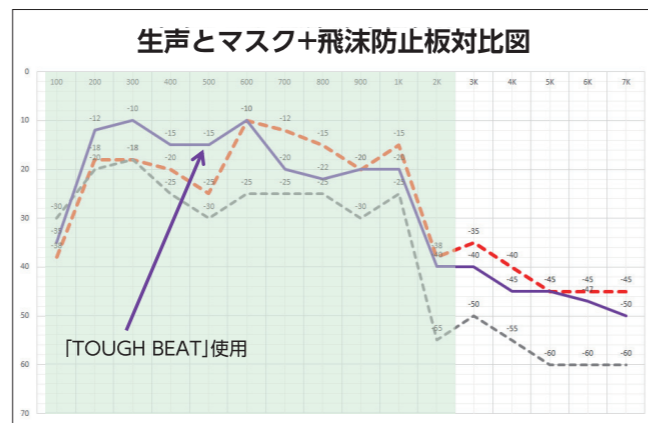
音声が聴きにくくなる分析



〈解説〉 ー線は生声を表します。
ー線はアクリル板を介した
ー線はシートを介した

アクリル板・シートを介した場合どちらも高音領域の音量が低下するため聴きにくくなる原因です。

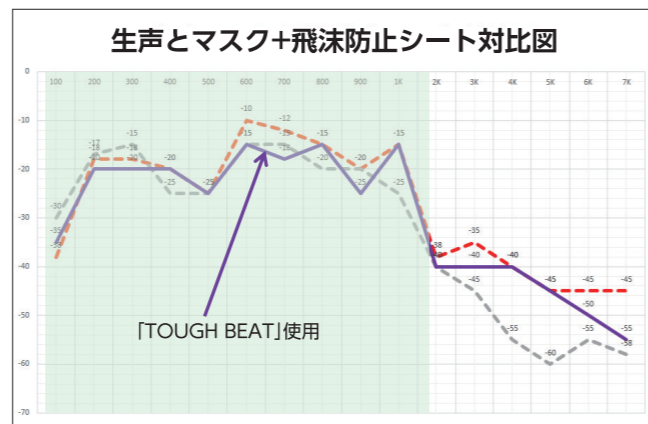
音声が聴きやすくなる分析



〈解説〉 ー線は生声を表します。
ー線はアクリル板(上図)・シート(下図)を介した
ー線は「TOUGH BEAT」を使用した場合

「TOUGH BEAT」スピーカーで会話すると音声は補完され生音声に近づき通常の会話のように聴こえます。

〈結論〉 「TOUGH BEAT」を使用すると聴きやすくなる



専門医も推奨する平面スピーカー

従来のコーンスピーカーと平面スピーカーによる語音聴力検査を行い、平面スピーカーの成績の方が良い傾向が得られました。今後追加の研究を行い平面スピーカーの効果により明らかになれば、生活環境におけるスピーカーを平面スピーカーに変更することにより、超高齢化社会における加齢性難聴をきたした高齢者が何もしなくても、聴き取りやすい環境が得られる可能性があります。

参考：平面(フラット)スピーカーによる高齢難聴者の聴取効果についての検討の報告書から抜粋(2021年1月)

東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科

リキタケ マサヒロ
医学博士 力武正浩
イマガワ ノリエ
言語聴覚士 今川記恵

飛沫ブロックスクリーンスピーカー TOUGH BEAT タフビート

アクリル板やシールドシート越しの
聴き取りにくい会話音声を聴きやすく声を補完する
コストパフォーマンスが高い
工事不要のスピーカーシステムです



飛沫ブロック用スクリーン(アクリル板・シールドシート)に簡単装着!
病院窓口・銀行窓口・公共施設の窓口・チケット売り場・各種窓口・スーパーやコンビニのレジ・タクシー・ホテルフロント・オフィスの会議室・飲食業・ショールーム等

